

地域協働かわらばん

つながる



(輪・和・WA…)

第5号(平成24年3月1日発行)
発行:盛岡市地域協働推進事務局

〒020-8530盛岡市内丸12-2
Tel 651-4111(内線3851)
E-mail
chiikikyodo@city.morioka.iwate.jp

1 城南地区・青山地区でワークショップを開催

地域協働のモデル地区である城南地区、青山地区で、地域づくり計画策定のためのワークショップが開催されました。



(城南地区ワークショップの様子)

城南地区(2月1日)では、大雪にもかかわらず、45人の方が参加しました。

城南地区では「古都の風情が似合う安全なまち」と「古都の商い賑わうまち」という2つのテーマで行われました。

地区の好きなところとして、「歴史や文化、伝統を感じること」や「交通の利便性」といった意見が寄せられた一方、「空き家・空き店舗の増加」や「少子高齢化」が地域の課題として挙げられました。

青山地区(2月19日)は、午前と午後の2回開催され、小学生を含む約100人の方が参加しました。

地区の良いところとして、「店舗の多さ」や「公共交通機関の充実」が挙げられた一方、「少子高齢化」や一部では「買い物が不便」であること、「除雪が行き届かないこと」などが課題として出されました。

また、あいさつ運動に地域全体で取り組むなどの取り組みの具体例を示した班もありました。

本宮地区をはじめ、本年度のモデル地区でのワークショップは終了しましたが、これらの成果をもとに、各地区で3月末までに、地域づくり計画の策定が行われることとなります。



(青山地区ワークショップの様子)

2 モデル地区訪問～第2回 城南地区

地域協働に取り組んでいるモデル地区にお邪魔するモデル地区訪問。今回は、城南地区地域づくり計画策定委員会 高橋 弘委員長から、お話を伺いました。



城南地区地域づくり計画策定委員会
会長 高橋 弘さん

◆地域協働に取り組んだきっかけは何ですか？

地区内の八幡通がコミュニティ道路として整備されたことを契機に、八幡かいわいの活性化を図るため、近隣の6つの町内会、企業等が組織を作ってさまざまな取り組みを進めようとしています。こうした活動を城南地区全域に広げ、地域づくりに取り組むこととしたものです。

◆地域協働に取り組んでみての感想はどうですか？

城南地区に住んでいる人は、比較的恵まれた環境にあるせいか、あまり地域を意識していないように感じていました。今回、ワークショップを行う中で、地域に対する意識が高まったと思っています。

◆今後の抱負をお願いします！

さまざまな方の参加により、地域づくり計画の策定を進めますが、この計画は、地域のみんなで守る「ルール（約束）」と考えています。より住みやすいまちとするため、みんなでこの計画（約束）をつくり、これに基づいた事業や活動を通じて、まちづくりに取り組んでいきたいと考えています。

◆今後、地域協働に取り組む皆さんに一言をお願いします！

それぞれの地域で課題も将来像も異なると思います。また、取り組むテーマもさまざまだと思いますが、地域に住む皆さん一人ひとりが自分のこととして地域を考え、地域づくりに参加することが大切と考えています。地域協働の取組は、自分の住んでいる地域に目を向けるきっかけとなり、より多くの方々が地域づくりにかかわっていただけたと考えています。

今月の1コマ



2月19日の青山地区ワークショップでの1コマです。参加した皆さんは、顔を合わせたことのない方もいるため、最初にリラックスするためのゲームを行いました。みんなで輪になって、生まれた月日ごとに並ぶという簡単なゲームでしたが、さすが同じ地区に住む皆さん。あっという間にお互いが笑顔になり、次のワークショップでは各班とも多くの意見が寄せられました。地域の皆さんが一つになった新しい「輪・和」を感じられる一時でした。